

市民の自治と市の関係

提言書＋7／24意見

市で行われている様々な市民や地域の団体の自治の活動は、氷見市の活力そのものであり、市はこの自治の活動とその自発性を尊重し、市政運営を進めていかなければなりません。危機管理や具体的な政策の展開にあたって、市はこうした市民自治との連携を進めていくよう努めるものとしします。

市民自治に関わる市民の知見を市政に活かすため、協力を得るときには、その目的について丁寧に説明し、協力の機会が一層意義のあるものとなるよう努めるものとしします。

条文素案

- ・「尊重」とするか「基本として」（表現は検討）とするか。

解説

- ・この条文の対象が、市民が市へ信託していない部分であることを、信託している部分と区別してわかりやすく記載する。

条文（案）

（市民自治の尊重）

第16条 市は、市民や地域の活動が氷見市の自治の根幹であることを不断に認識し、その自主性及び自立性を尊重した市政運営を進めなければならない。

【解説】

本条は、市民自治について規定したものです。

市民や地域の活動は、氷見市の活力の源泉であり、氷見市の自治の根幹です。氷見市の活動は市民の信託によるものですが、すべてを任せているのではなく、地域や社会の課題を共有する市民はみずから様々な活動をすすめています。こうした活動は強制できるものではなく、だからこそ、市は、市民の自主性と自立性を尊重し、市民による自治の活動の価値を十分に認識して、市政運営に活かしていく必要があります。